

校長室から

(R6.11)

～校長の独り言（思いをのせて）～

文責：菅 昌徳

地域の方との交流

～ 本校・分教室 小学部 ～



11月28日（木）小学部の児童が自治会の方々と交流を行いました。2回目の交流ということもあり会を進行する児童には緊張の中にも笑顔が見受けられ、和やかな雰囲気での始まりでした。幾度か練習して本番を迎えた子どもたちの姿に「カッコイイ」と叫びたくなるくらい素敵でした。

司会者に導かれ自己紹介をする子どもたちは、自分なりに工夫をしながら名前を伝え、「よろしくお願いします」などの挨拶をしてくれました。また、ゲームをするときも自分たちから地域の方々にルールを説明したりボールを渡したりなど積極的に関わる姿も見受けられました

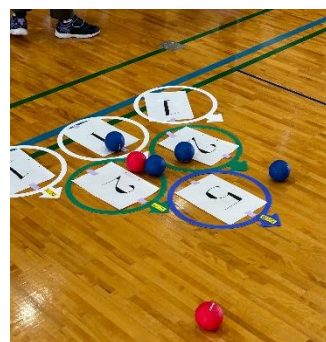
人前に立ち自分の思いを伝えることや積極的に関わることができたという自信が自分づくりへの新たな宝物となってくれと信じています。

異世代の方々と交流をする中で子どもたちは、自然と心が温かくなり肩の力を抜いて笑顔いっぱい活動を楽しむことができていました。

私自身が小学生のころ、祖母の家での何気ない会話や散歩、買い物など何となくゆっくりとした空間の中で優しくされ心地よさを感じていた幼少期のことを思い出しました。

きっと今日の交流で子どもたちも心地よい安堵感を感じてくれたと思っています。

子どもたちが安心して飛び込んで思いを伝えられることができるようにこれからも心の扉を開いて寄り添い、共に学びを進めていこうという思いが一層深まりました。



小学部のみなさん 素敵な「笑顔」ありがとう！！

